

福岡市共働事業提案制度 令和4年度実施事業 最終評価

事業名 評価項	No2	
	古代おもてなし料理の復元・活用事業 ～古代食による歴史へのいざない～	
共働のプロセス		B
事業 の 成 果	目的・目標の達成度	B
	市民への効果	C
	共働の相乗効果	B
最終評価		B
講評		<p>賑わいや食という、コロナ下で大変な事業だったと思うが、古代食のアレンジ料理の創作やそれを活用したイベントは魅力的で高く評価できます。</p> <p>また、参加店舗の増加に向けて、今後の事業性の評価やビジネスモデルの構築が進むとより魅力的な事業になると思います。</p> <p>鴻臚館への理解を深め、来館者を増やすための方策として、これまでの活動を生かし、ぜひ民間活力を引き込んで磨き上げに期待します。</p>
令和5年度の状況		独自の共働の形態で実施

○採点の基準

- | |
|---|
| <p>A: 共働の取組、事業の成果が優れている</p> <p>B: 共働の取組、事業の成果がやや優れている</p> <p>C: 共働の取組、事業の成果ともにどちらでもない</p> <p>D: 共働の取組、事業の成果ともに努力が必要である</p> <p>E: 共働の取組、事業の成果ともに不十分で、一層の努力が必要である</p> |
|---|